
Ⅲ. 各大会競技規程

1. 東京都高等学校対抗柔道大会・東京都高等学校柔道選手権大会・東京都高等学校女子体重別柔道大会 兼 関東高等学校柔道大会東京都予選会

(1) シード基準について

A. 団体試合(男子・女子)

- 第1シード 前年度優勝
- 第2シード 前年度準優勝
- 第3シード 前年度第3位
- 第4シード 前年度第4位
- 第5シード 支部大会優勝
- 第6シード 支部大会準優勝
- 第7シード 支部大会第3位
- 第8シード 支部大会第4位

※他は支部代表者の責任抽選とする。

~~B. 個人試合(男子・女子)~~

- ~~第1シード 支部大会優勝~~
- ~~第2シード 支部大会準優勝~~
- ~~第3シード 支部大会第3位(2名)~~

~~※他は支部代表者の責任抽選とする。~~

(2) 順位(代表)決定について

A. 男子団体試合

【代表が9～11校の場合】

まず、トーナメント戦を行い、準々決勝進出校が第1～8代表となる。次に、3回戦敗退校(ベスト16)の8校により、順位決定トーナメント戦を行い、上位校を第9～11代表と決定する。

B. 女子団体試合

【代表が7校の場合】

まず、トーナメント戦を行い、準決勝進出校が第1～4代表となる。次に、準々決勝敗退校(ベスト8)の4校により、順位決定トーナメント戦を行い、上位を第5～7代表と決定する。

【代表が8校の場合】

トーナメント戦を行い、準々決勝進出校が第1～8代表となる。

C. 男子個人試合

【代表が2名の場合】

トーナメント戦を行い、決勝進出選手が第1・2代表となる。また、準決勝敗退選手(ベスト4)の2名により、補欠決定戦を行う。

D. 女子個人試合

【代表が2名の場合 : 参加者が8名以上】

まず、トーナメント戦を行い、上位4名からは決勝リーグ戦により上位2名を代表とする。なお、決勝リーグ戦における同一校選手どうしの対戦は、第1試合に行うものとする。

【代表が2名の場合 :参加者が6～7名の場合】

参加者を2つの予選リーグ(A・B)に振り分け、各リーグ上位2名を決勝トーナメント進出とする。決勝トーナメントの組合せは、「Aの1位」対「Bの2位」および「Bの1位」対「Aの2位」とする。

【代表が2名の場合 :参加者が5名以下の場合】

参加者総当たりのリーグ戦を1回行い、上位2名を決定する。
※リーグ戦の順位決定基準は、以下の通りとする。GSの有無や指導差は考慮しない。

- ①必ず勝敗を決する。
- ②順位は、勝ち数の多い選手を上位とする。
- ③上記②で同等の場合は、「一本」勝ちの多い選手を上位とする。
- ④上記③で同等の場合は、「技あり」優勢勝ちの多い選手を上位とする。
- ⑤上記④で同等の選手が2名の場合、両者の対戦の勝者を上位とする。
- ⑥同じく、上記④で同等の選手が3名の場合、抽選により上位を決定する。

2.東京都高等学校総合体育大会柔道競技大会 兼 全国高等学校総合体育大会柔道競技大会東京都予選会

(1)シード基準について

A. 団体試合(男子・女子)

- 第1シード 前年度優勝
- 第2シード 前年度準優勝
- 第3シード 前年度第3位(2校)
- 第4シード 支部大会優勝
- 第5シード 支部大会準優勝
- 第6シード 支部大会第3位
- 第7シード 支部大会第4位

※他は支部代表者の責任抽選とする。

B. 男子個人試合

- 第1シード 支部大会優勝
- 第2シード 支部大会準優勝
- 第3シード 支部大会第3位

※他は支部代表者の責任抽選とする。

C. 女子個人試合

- 第1シード 支部大会優勝
- 第2シード 支部大会準優勝
- 第3シード 支部大会第3位

※支部大会の結果に加えて、前年度「総体」「選手権」の成績を評価する。

※他は支部代表者の責任抽選とする。

3.東京都高等学校学年別柔道大会

(1)シード基準について

A. 男子団体試合(1学年・2学年)

- 第1シード 前年度「1学年の部」優勝
- 第2シード 前年度「1学年の部」準優勝
- 第3シード 前年度「1学年の部」ベスト4(2校)
- 第4シード 支部大会優勝
- 第5シード 支部大会準優勝
- 第6シード 支部大会第3位
- 第7シード 支部大会第4位

※他は支部代表者の責任抽選とする。

B. 男子団体試合(3学年)

- 第1シード 前年度「2学年の部」優勝
 - 第2シード 前年度「2学年の部」準優勝
 - 第3シード 前年度「2学年の部」ベスト4
- ※他は支部代表者の責任抽選とする。

C. 女子個人試合(1学年・2学年)

- 第1シード 支部大会優勝
 - 第2シード 支部大会準優勝
 - 第3シード 支部大会第3位
- ※他は支部代表者の責任抽選とする。

D. 女子個人試合(3学年)

※支部代表者の責任抽選とする。

**4.東京都高等学校新人柔道大会・東京都高等学校女子団体柔道大会 兼
全国高等学校柔道選手権大会東京都予選会**

(1)シード基準について

A. 団体試合(男子・女子)

- 第1シード 前年度優勝
 - 第2シード 前年度準優勝
 - 第3シード 前年度第3位
 - 第4シード 前年度第4位(男子代表枠が2校の場合には、第3シードと同位置)
 - 第5シード 支部大会優勝
 - 第6シード 支部大会準優勝
 - 第7シード 支部大会第3位
 - 第8シード 支部大会第4位
- ※他は支部代表者の責任抽選とする。

B. 個人試合(男子・女子)

- 第1シード 支部大会優勝
 - 第2シード 支部大会準優勝
 - 第3シード 支部大会第3位
- ※他は支部代表者の責任抽選とする。

(2)順位(代表)決定について

A. 男子団体試合

【代表が3～4校の場合】

まず、トーナメント戦を行い、決勝進出校が第1・2代表となる。さらに、残りの準々決勝進出校6校により、順位決定戦を行い、第3・4代表を決定する。

【代表が2校の場合】(勝ち抜き試合)

トーナメント戦を行い、決勝進出校が第1・2代表となる。また、準決勝敗退校(ベスト4)の2校により、補欠決定戦を行う。

【代表が2校の場合】(点取り試合)

まず、トーナメント戦を行い、上位4校からは決勝リーグ戦により、上位2校を決定する。第3位を補欠校とする。なお、決勝リーグ戦におけるチーム間の勝敗が同内容の場合、引き分けとする。

※リーグ戦の順位決定基準は、以下の通りとする。

- ①3勝、2勝1分、2勝1敗、1勝2分、1勝1分1敗、1勝2敗、3分、2分1敗、1分2敗、3敗の順とする。

- ②上記①で同等の場合は、リーグ戦を通じ勝ち数の多いチームを上位とする。
- ③上記②で同等の場合は、「一本」による勝ち数の多いチームを上位とする。
- ④上記③で同等の場合は、「技あり」による勝ち数の多いチームを上位とする。
- ⑤上記④で同等の場合は、負け数の少ないチームを上位とする。
- ⑥上記⑤で同等の場合は、「一本」による負け数の少ないチームを上位とする。
- ⑦上記⑥で同等の場合は、「技あり」による負け数の少ないチームを上位とする。
- ⑧上記⑦で2校同等の場合、リーグ戦での当該試合における勝者を上位とする。当該試合が引き分けであった場合、大会規程に基づいた代表戦(男子は任意、女子は引き分けた対戦)を1回行う。
- ⑨上記⑦で3校同等の場合、リーグ戦での当該対戦の結果を考慮せず、抽選により代表決定トーナメントを組み直す。各試合は大会規程に基づいた代表戦(男子は任意、女子は引き分けた対戦)を1回行う。なお、女子団体戦において、当該対戦に引き分けが無かった場合には、抽選により対戦カードを決定する。

B. 女子団体試合

【代表が2校の場合】

男子団体試合(点取り試合)の内容に準ずる。

C. 男子個人試合

【代表が2名の場合】

まず、トーナメント戦を行い、上位4名からは決勝リーグ戦により上位2名を代表とする。なお、決勝リーグ戦における同一校選手どうしの対戦は、第1試合に行うものとする。

なお、前年度「全国高等学校柔道選手権大会」優勝選手が同一階級で出場する場合には、東京都予選出場を免除して東京都第一代表に推薦し、第二代表は通常トーナメント戦で決定する。

D. 女子個人試合

【代表が2名の場合 :参加者が8名以上】

男子個人試合に準ずる

【代表が2名の場合 :参加者が6~7名】

参加者を2つの予選リーグ(A・B)に振り分け、各リーグ上位2名を決勝トーナメント進出とする。決勝トーナメントの組合せは、「Aの1位」対「Bの2位」および「Bの1位」対「Aの2位」とする。

【代表が2名の場合 :参加者が5名以下】

参加者総当たりのリーグ戦を1回行い、上位2名を決定する。

※リーグ戦の順位決定基準は、以下の通りとする。GSの有無や指導差は考慮しない。

- ①必ず勝敗を決する。
- ②順位は、勝ち数の多い選手を上位とする。
- ③上記②で同等の場合は、「一本」勝ちの多い選手を上位とする。
- ④上記③で同等の場合は、「技あり」優勢勝ちの多い選手を上位とする。
- ⑤上記④で同等の選手が2名の場合、両者の対戦の勝者を上位とする。
- ⑥同じく、上記④で同等の選手が3名の場合、抽選により上位を決定する。